

# 又吉清義

会派 沖縄・自民党

令和4年3月特別号

沖縄県議会

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-2-3 6階  
電話:098-866-2754 FAX:098-866-2773



## ご挨拶

皆様方も十分ご承知の通り、コロナ禍の影響によりこれまで社会を支えてきた経済、福祉、教育、社会活動、暮らし方等が根本から変化を余儀なく求められ、きびしい環境に変わりつつあると思います。またこれまで先輩方が培ってきた文化、伝統行事の継承や地域活動等も大変な環境下にあります。そのような状況の中、いかに県民一人一人の生活、暮らしを守るためにどうあるべきか、又活力ある経済の復興を図るか、これまでの定例会で議論をされてきた内容等など、議会報告の特別号を作成いたしました。是非ご一読願ひ、皆様方のサポートとして生かしていただく事ができれば幸いです。結びに、日頃より皆様の私たち議員へのご指導、ご鞭撻に感謝申し上げ、議会報告特別号を発刊するにあたり、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年3月

### 目次

辺野古移設問題に対する県の対応方について…P.2～3
軽石漂着問題について…………… P.3～4
宜野湾仮設避難港の盛土について …………… P.4
世界一屈辱と言われる礼が復活した首里城祭について … P.4～5
復帰50周年を迎えるにあたりその歴史の経緯について … P.5

尖閣問題について…………… P.5～6
自然災害についての県の対応方について …… P.6
路線バス支援事業について…………… P.6～7
新型コロナ感染と言われ2年が経った今日、 その経緯と報道されない情報、対策等について … P.7～12

# 2022議会報告

## ①基地問題

(令和2年6月定例会)

又吉：辺野古埋めては危険性の除去が一番の原点です。だから一日も早くなんです。

又吉：ですから、県民の命を守るための危険性除去に向け、一日も早くできる方法をとるのが県の姿勢であると私は解釈しておりますが。

知事公室長：議員ご指摘の通り県民の生命財産を守るというのは行政の最も重要な責務であろうというふうに考えております。

又吉：埋めて工程を示した時点で12年は長いと反論し始めましたが、県自身の危険性除去に向けた取り組みは、何年で可能なのか、対話だけで終わるのですか。

12年が長いという根拠は何ですか。

知事公室長：危険性の除去を求めていくという上では、やはり県外・国外を求めていったほうがより県民の基地負担の軽減につながるという風に考えているところです。

又吉：皆様が求めている危険性の除去はいつ実現されるのですか。

知事公室長：県と国との対話によって県外・国外移設をしていくと、検討していくということのほうが最も基地負担の軽減を図る上で適切な方法であろうという風に考えているところでございます。

又吉：対話と出てきましたが、今日の辺野古埋め立ての工程までの期間で、皆さんの対話による時間、裁判、訴訟と何日間工事をストップいたしましたか。

知事公室長：具体的に今何日と申し上げるのは少し資料もと合わせておりませんので、お答えすることは困難でございます。

又喜：具体的に言いますと、訴訟に明け暮れた期間、対話をもった期間を足すと1年と6か月の18か月です。

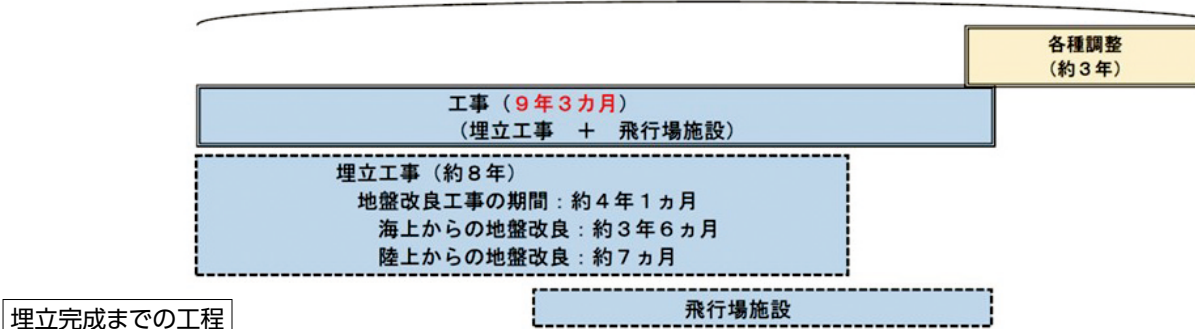
皆様は裁判、訴訟に明け暮れておりますが、その結果はほとんどが負けで、一回も皆様の主張が勝ったことはありません。

これまでの裁判や訴訟手続き費用は、約2億円



辺野古埋立進捗状況(令和3年12月撮影)

(変更後の計画に基づく工事に着手してから) 約12年



※資料はいずれも沖縄防衛局ホームページより

の経費、職員の人件費でも約2億円程、県の大  
切な財源が失われているわけです。

これが対話を求める姿勢ですか。

**副知事**：政府が対話に乗っていただけるのであれば、  
国内への移転、それから国外への移転、そ  
ういったものはるかに辺野古の埋め立て  
12年かかると政府も認めているものより  
はできるのではないかという風に考えてい  
るところです。

**又吉**：副知事がはるかに速いという割には、一度も県  
外を求めたことはないですよ。

馬毛島に視察に行って、どうするか、政府に一  
度も求めたこともない

県外に行って一度もお願いしますといったこ  
とのない皆様がよくそんなことが言えますか、  
実現可能な方法で進めていく、一日も早く危険  
な状態を回避するべきです。

皆様は、県民の命を守るために一日も早く危険  
性の除去をする解決の責務があると思いま  
すが、如何ですか。

**副知事**：近年、米国の中国に対する軍事的優勢が失わ  
れ、沖縄の軍事的脆弱性が認識される中で海  
兵隊を含めた米軍の戦略見直しがすすんで  
いるというような記述等でございます。

**又吉**：平成28年ごろに翁長前知事が馬毛島視察を行  
いましたが馬毛島についてどうするのか伺い  
ます。

**知事公室長**：沖縄の基地負担軽減を図るため、県外・  
国外へのより一層の訓練移転が必要と  
考え自衛隊馬毛島基地の整備状況や利  
用計画なども含め、引き続き情報収集に  
努めてまいります。

**又吉**：知事、馬毛島の情報、全く知らないのですか、  
馬毛島用地取得は終わり、種子島の西約12キ  
ロメートル、屋久島の北東約40キロメートル  
にあります。

何名が住んでいるかお答えください。

**知事公室長**：実際に人は住んでいないというふうに理  
解しております。

**又吉**：知事をはじめ、もう少し真剣に取り組んでもら  
えませんか、

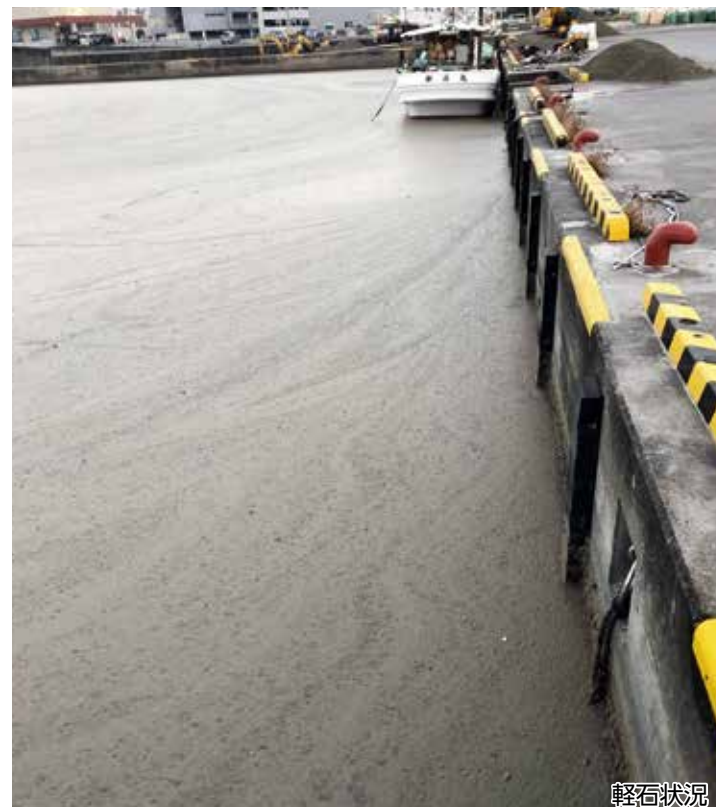
街のど真ん中に位置する基地の市民に及ぼす  
影響は馬毛島とでは根本から異なりますよ。

## ②軽石問題

(令和3年11月定例会)

漂着した軽石の撤去作業について

**土木建築部長**：港湾において、軽石が漂流。漂流し、  
船舶の航行及び係留に支障を来す場  
合は、港湾災害復旧事業で対応する  
こととしております。市町村におい



て撤去した軽石の運搬。処分費用については、各種補助事業等の要件や諸手続きについて関係部局と連携を図り、対応を検討していきたいと考えております。

**農林水産部長：**漁船の損傷や漁業活動の自粛、養殖魚介類のへい死等が発生しております。11月24日現在、131隻の漁船にエンジントラブルが発生し、全漁船に当たる1189隻が操業を自粛しております。

県では、漁業者の収入確保を図りつつ早期の漁業活動の再開につなげる取り組みとして、モデル的に、漁業者が行う軽石撤去の支援を開始したところであります。

### ③宜野湾仮設避難港の盛土について

(令和3年2月定例会)

**又吉：**宜野湾警察署移転に係る宜野湾仮設避難港の盛土の取り扱い方について伺います。

**土木建築部長：**避難港内に仮置きされている土砂については、仮庁舎建設に支障がないように移動した上で、順次搬出しながら、県が実施する公共事業に利用しているところであります。

**又吉：**盛土として置かれているこの土砂、いつ頃からどこからやってきて、どのくらいの量があるか説明していただけますか。

**土木建築部長：**土砂の量は、現在約1万500立方メートルとなっております。

**又吉：**この仮設避難港、都市計画上ではどのような位置づけなのかご説明ください。

**土木建築部長：**都市計画上、今現在の位置づけはございません。宜野湾市都市計画マスタープランの素案によりますと、都市型オーシャンフロントリゾート地の核として位置づけ、多様なリゾート機能の誘導に努める予定と聞いて

おります。

**又吉：**21世紀ビジョンではどのような位置づけか伺います。

**土木建築部長：**21世紀ビジョン基本計画の中では浦添市から宜野湾市に、そして北谷町に至る海岸線が連担した地域を世界的観光水準のコースタルリゾートとして形成するというような記述があったかと記憶しております。

**又吉：**宜野湾市から読谷村に至る西海岸地域においては「良好な景観の形成、環境保全活動と経済活動が共存するルールづくり等、魅力ある風景づくりを推進し、豊かで美しい観光・都市空間の創出を図ります。」という地域なんですよ。みなさん、おかしいと思いませんか。

**土木建築部長：**今後宜野湾警察署の仮庁舎の敷地として令和6年度まで使うことになっております。おおむねその頃にはしっかりと利活用ができるように検討していきたいと考えております。



宜野湾仮設避難港の盛土

### ④首里城復興祭の行事について

(令和4年2月定例会)

世界一屈辱的な礼といわれる<sup>サンキョウコウトウ</sup>三跪九叩頭の礼について

**又吉：**三跪九叩頭の礼とはどのような儀式か伺う

**土木建築部長：**琉球王朝時代、中国皇帝が冊封使を送り琉球王国の国王を任命する儀式を、首里城祭の関連イベントとして再現した冊封儀式です。

**又吉：**もう一度伺います。

**土木建築部長**：三跪九叩頭の礼とは、号令とともに手を地面につけ、額を地面に3回つけ、この動作を3回繰り返すというもので、清時代の皇帝に対する儀式と言われております。

**又吉**：額を地面につけると地面に叩きつけるとは意味が違いますよ。

地面の石に血がにじみ出るぐらい、音が出るぐらい三回叩きつける、その動作を三回行うわけです。王様にそんなことをさせ、そして中国の属国だという意思表示の儀式ですよ、それが2017に復活した。

今年の首里城復興祭のときに、そのような行事を復活させるのですか

皆さんはどの様に予定しておりますか。

**土木建築部長**：三跪九叩頭の礼につきましては、平成30年以降、実施しておりません  
予定はございません。

**又吉**：この儀式は沖縄の琉球王朝の誇りも何もないですよ、復活させるものではないと強く指摘します。



三跪九叩頭の礼

## ⑤復帰対策県民会議とは

(令和4年2月定例会)

沖縄祖国復帰を1年後に控えた1971年1月1日、当時の屋良主席の提案により「復帰対策県民会議」が設置されました。

県内各層から保革のバランスのとれた代表47人で構成され、1月16日から8月18日まで14回にわたり諮問、審議答申され、それを琉球政府の局長会

議を経て復帰対策要項として本土政府に送付、随時閣議決定されてきました。最後の答申が閣議決定されたのは、9月3日であります。



この時点で、復帰対策県民会議の役割はすべて完了したのです。

ところが10月1日、祖国復帰協の団体が「沖縄批准国会の闘争要綱」をまとめ、グループ単独の指名による外部の弁護士や学者も組み入れたプロジェクトチームを編成し「祖国復帰に対する建議書」としてわずか一か月でまとめ上げたのが「屋良建議書」です。上記のように、「屋良建議書」の大きな問題は「祖国復帰対策県民会議」で政府とも十分検討したうえ、半年以上もかけて作られ、沖縄側が了承したことを蒸し返すように主張しているところです。

「屋良建議書」は、立法院で採択された記録もないのです。「屋良建議書」は県民の総意でも願いでもなく、特定のイデオロギーを持った革新側の声であるということです。沖縄県祖国復帰50周年として、これから沖縄がさらに発展、飛躍していくためにも、とても認められるものではありません。

## ⑥尖閣問題について

(令和2年6月定例会)

**又吉**：頻繁に起きている中国公船による追尾問題や領海侵犯について、なぜこのように頻繁に追尾を行うのか、県はどの様に理解しているかご説明ください。

**副知事**：領有権の問題を持ち出し自国の領土だということを主張するためにと、認識しております。

又吉：副知事おっしゃる通り非常に危機的状況なんです。領海内に公船を派遣することにより自国が主張する領有権の既成事実化を図る狙いがあるのです。

副知事：自分たちの実効支配の印象付けのため、領海侵入を繰り返していると理解しております。

又吉：こんな恐ろしいことが起こっているのです。志位局長と一緒に中国に出向いて、「日本の領土です、この様なことはやめてもらいたい」と言ってきたらどうです。

副知事：我が国政府に対しまして、しっかり自国の主権であることを主張していただきたいと強く要望しているところです。

又吉：中国に関したことを、日本国に要望するだけではだめであります。そんな甘いものじゃないですよ。



中国による南沙諸島の占拠状況の一部の様子

## ⑦自然災害について

(令和2年2月定例会)

又吉：台風や大雨、地震などによる自然災害の県の対応方について伺います。

崖崩れの日も早い復旧と防止対策に向け、どのような手順によって進められているかを伺います。

土木建築部長：関係法令に基づく区域に指定する必要があり、急傾斜地崩壊対策事業においては対策箇所が自然斜面であり、かつ斜面の保有者、管理者等が対策

工事を行うことが困難または不相当と認められる場合に限り、事業採択となります。

土木建築部長：宜野湾の普天間のこの現場につきましては、今自治会や宜野湾市から県に対して対策の要請がない状況でございます。その対策の要請があった場合に、事業採択に向けて危険区域の指定等、必要な手続きを進めていくことになるかと思えます。宜野湾市と地権者の間で協議がなされているところだろうと理解しております。

又吉：まだ大惨事にならないうちに早めの防止対策を地権者、宜野湾市と力を合わせてしっかり進めていただきたいと思えます。



## ⑧バス支援事業について

(令和3年2月定例会)

又吉：コロナ禍による経済的損失を受けた各種業種の支援事業について伺います。

企画部長：公共交通機関の持続的な感染防止対策の定着を支援するためにバス等の公共交通事業社約1,300社に3億2,000万円を支給し、感染防止対策を支援したところであります。

又吉：県内の路線バス事業は基幹的な交通手段であり、1点目に県内には電車がなく、通勤・通学・通院、そして買い物等、弱者の県民の足となり、生活インフラの役割を果たしています。今それ

が窮地に立たされています。今までの対策で宜しいのか伺います。

**企画部長**：路線バスについては交通弱者、高齢者、学生であったり、欠くことのできない移動手段であります。非常事態宣言下にあっても、バス運行は止めることができません。非常に必要な交通インフラであると十分認識をしているところであります。これを踏まえて県の支援について引き続き検討してまいります。

**又吉**：各市町村も共にどういうことができるか、みんなで乗り越えないといけないのです。学生や弱者は大変なことになります。知事そこまで考えて取り組んでください。



## ⑨ コロナについて

### (令和2年9月定例会) マスク着用について

**又吉**：ゆったりした空間、密室じゃなければマスクは外してもよろしいのではないのでしょうか。又、通学時においてゆったりした距離や空間があれば子どもたちは着用義務があるのか。

**教育長**：屋内外を問わず、十分な身体的距離が取られている場合はマスクを着用する必要はないということを考えています。感染リスクを避けるために人との十分な身体的距離を確保する。バスとかモノレールなどでは着用するように児童生徒には指導をしているところでございます。

**又吉**：ゆったりした場所では空気をお腹いっぱい吸ってはじめて健康になるだろうし、顔も見えてお互いに安心感もあるかと思います。

### (令和2年9月定例会) 濃厚接触の定義について

**又吉**：濃厚接触の定義について伺います。

**保健医療部長**：感染症発生動向調査実施要項によりますと陽性者と同居あるいは長時間の接触がある方。距離の目安として、1メートル以内で必要な感染予防策（マスク着用のこと）がなされないまま陽性者と15分以上の接触があった方等が該当します。

**又吉**：今家庭内感染がかなり広がってきています。濃厚接触者の定義が分かれば家族を濃厚接触者にさせないことができます。県としても県民にもっと周知徹底することにより、家庭内での濃厚接触による感染を防ぐことが出来ます。その定義をもっと周知徹底できませんか。

**又吉**：感染予防対策でもう一つあります。健康チェックの習慣をつける。意識を持たせることです。そのために空気感染、接触感染飛沫感染がありますが、お互い自分専用の体温計があれば接触感染にならなくていい。そのような意味も含めて体温計に補助を出し健康チェックの意識を持たせたらいかがですか。

**保健医療部長**：県民のみなさまが全員やっていただくと非常に効果があると思います。予算についてはまた貴重なご意見として伺わせていただきます。

### (令和2年11月定例会) コロナ感染者の現状と年齢について

**又吉**：コロナ感染者の現状と年齢について伺います。

**保健医療部長**：12月4日時点で言いますと、90歳以上が86名、80代が201名、70代が341名、60代が567名、50代が631名、40代が773名、

30代が693名、20代が808名、10代が258名、10歳未満が124名でございます。

又吉：感染している方々の死亡、重症、軽症、無症状の割合はどのようになっていますか。

保健医療部長：陽性者の11月21日から27日の状況についてご説明いたします。重症者が0.9%、中等症者は23.9%、軽症と無症状者は75.2%となっております。

又吉：12月3日時点の陽性者4,398名中、入院421名、重症者26名、その他390名、死亡69名、退院3,908名です。

保健医療部長：12月4日時点で入院中210名のうち重症が5名、中等症が87名、入院療養中と調整が49名、宿泊施設療養中が93名、自宅療養が80名、入院勧告解除が3,995名、死亡退院が72名です。



又吉：今コロナ感染で、毎日何名の方が感染し、何名の方が死亡したと報告をされておりますが、県内の一年間でコロナ以外で死亡する方は1万2,000名余りで、県内の5大死因の悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患、老衰などでお亡くなりになった方はどのような割合になっておりますか。

保健医療部長：申し訳ありません。今手元に資料なくて。

又吉：コロナの発生でお亡くなりになった方は69名、この5大死因の悪性新生物(ガン)でお亡くなりになった方は年間3,095名、老衰で935名もお亡くなりになっております。

### (令和3年2月定例会)

### コロナ禍でも経済を止めずに対応策を取る

又吉：たとえコロナ禍であっても、経済を止めずに行ける方法はないかと。経済を止めずにかしなながらコロナの防止対策を行う。県独自のマニュアルをつくり、認証システムみたいなことを構築して観光や飲食業などを可動させる。

商工労働部長：事業につきましてはRICCA、シーサーステッカーなど掲示されている店舗ということで域内の経済を回し感染症の防止、拡大を抑制するという事です。

又吉：沖縄を訪れる観光団ほとんどコロナ感染者はいません。水際対策のPCR検査もできるようになりました。沖縄は安全対策もしっかり行い万全です。「どうぞ沖縄にいらっしやい」と、感染したら宿泊代を持ちますよ、その様な環境整備をして経済を動かすべきだと思います。そのくらい思い切った策をやるべきだと思います。何もやらない限り、何も生まれません。

又吉：コロナが多く発生したから店を休業しなさいというよりは、この店は大丈夫ですと、認証ができるシステムを早く作っていただきたいと思っております。



(令和3年6月定例会)

### 発症予防とは？感染予防とは？

又吉：ワクチン接種は感染予防につながるのか。それとも発症予防につながるのか。どちらですか。

保健医療部長：厚労省の発表によりますと発症予防効果が95%、重症化予防の効果もあるとの報告もあります。

又吉：感染予防には何と書いてありますか。

保健医療部長：感染予防に関しましては、明確な報告はされていないところでございます。

又吉：今年の1月8日、厚生労働省健康局健康課長から各都道府県に通達文があると思います。「医療従事者の範囲」注1ということで何と書かれています。

保健医療部長：「ワクチンの基本的な性格として、発症予防、重症化予防が想定され、感染予防の効果を期待するものではないことから、患者への感染予防を目的として医療従事者等に接種をするものではないことに留意」ということが書かれております。

又吉：ワクチン接種は感染予防が趣旨目的ではないですよ。重症化を防ぐ目的であって接種をしても感染はするのです。ワクチンを打ったら感染をしないと誤解をしたら大変なことになりますよ。

(令和3年6月定例会)

### コロナによるつくられた恐怖とは

又吉：今、我々はなかなか伝わらないコロナ感染症の正確な情報を知ることにより、県民の命と健康、暮らし、経済を回すことができると信じております。コロナ感染症で知事が一番恐れているのは何でしょうか。

知事：一番は感染して人の命がなくなることだと思います。

又吉：知事、私もまさしく同感です。日本でどのくらいの方が感染症と診断されているかお応えください。

保健医療部長：令和3年6月27日までに日本全人口の約0.6%、79万4,457人がコロナ感染症と診断されています。

又吉：人口の1%にも満たない数字だということですね。全国の感染症と診断された方の内、重症化や死亡する人はどれくらいかお答えください。

保健医療部長：新型コロナウイルス感染症と診断された方の重症化や死亡する人は高齢者は高く、若者は低い傾向がある。2020年6月以降、重症化する割合は50歳以下で0.3%、60歳以上で8.5%、死亡する割合は50歳以下で0.06%、60歳以上で5.7%となっております。

又吉：感染症として診断された方の約1.6%が全体的に重症化する。そのうち死亡者は1.0%であるということですね。直近の人口動態統計の死因別、1位、2位、3位順位の病名と死亡者数についてお答えください。

保健医療部長：厚生労働省の資料によりますと、第1位がガン、第2位が心疾患、第3位が脳血管疾患となっております。

又吉：1位のガン死亡数は日本で37万8356名、2位の心疾患が20万5518名老衰で亡くなる方が13万2435名そして認知症、不明で亡くなる方が20,811名です。

又吉：沖縄の死因別の1位から4位までの死亡数を把握しておりますか。

保健医療部長：手元に資料を持ち合わせておりません。

又吉：このような事ではコロナに関する正確な情報は伝わりませんよ。県内でガンで亡くなる方が3000人、心疾患で亡くなる方が1700人、老衰が900人です。コロナで亡くなる方は県内で何名かお答えください。

保健医療部長：昨日現在で死亡者数は179名となっております。

保健医療部長：平成30年、老衰でなくなった方が935名。コロナにより亡くなられた方が、これまでに179名です。

又吉：老衰で亡くなる人は、コロナの約5倍以上です。海外と比べて日本国民の感染症と診断された人数は多いか少ないかお答えください。

保健医療部長：日本の人口あたりの感染者数、死者数は全世界の平均や主要国と比べ低い水準であります。

保健医療部長：国ごとに状況が異なりますので、アメリカの感染者数3,362万1,348人、うち死亡者数が60万3,886人、死亡率は1.8%です。イタリアでは感染者数425万7,289人、死亡者数が12万7,453人死亡率は2.99%です。

又吉：世界の感染者数は人口78億人に対して、1億7990万人で感染率は人口の2.3%です。我が沖縄は0.6%です。私なりに調査、分析した結論です。

1点目、コロナ感染による県内の死亡者数は179人であり、ガンの年間死亡者数は3,000人と、コロナで亡くなる方はガンよりも圧倒的に少ない。

2点目に陽性者と判断され、入院療養を余儀なくされた方のほとんどは死亡せずに元気になれる。コロナ感染者の死亡のほとんどは高齢者と基礎疾患を持っている方であり、高齢者は老衰だけで年間900人もの方がお亡くなりになっている。

3点目に海外と比べて感染者数や死亡者数は日本、沖縄は圧倒的に少ない。間違いないでしょうか。

保健医療部長：議員のおっしゃる事について、その事実のとおりだと思います。

又吉：今我々は、新型コロナウイルス感染というつくられた恐怖の中で生活しているのではないかというのが私の結論です。もう少し落ち着いて対応したらどうかということです。ワクチン接種は感染を防ぐものか、それとも感染した方の重症化を予防するものか、どの効果が正しい判断か発症・予防についてお答えください。

保健医療部長：新型コロナワクチンにつきましては、

発症を予防する効果、発症予防効果でございます。感染を予防する効果につきましては、現時点では十分には明らかになっていないとされています。

又吉：ワクチン接種したらコロナに感染しないと多くの方が思っているんですが、違うんです。接種した方もコロナに感染するのです。ぜひ正確な情報を流すべきです。



保健医療部長：国としましても、発症予防効果、重症予防効果については期待できる。感染予防効果については十分には明らかになっていないというのが公表ベースの話でございます。

又吉：私達に必要なのは、コロナにかかって発症を抑えたほうが良いのか、コロナにかからないように予防をした方がいいのか、部長お答えください。

保健医療部長：現在のコロナワクチンについては発症予防効果、それから重症化予防効果がございますので、感染予防効果についてはこれから明らかになるものと考えております。

又吉：ワクチン接種を実施した海外の感染状況は今日のように変化しているかお答えください。

保健医療部長：最近になってイギリスは上昇傾向になったというところでございます。イスラエルについても上昇していると。

又吉：イスラエル、イギリスのワクチン接種率は世界で高い国なのか低い国なのかどちらですか。

保健医療部長：両方とも高い国です。

又吉：コロナ感染を撲滅させるために、

1. コロナ感染発症の対策以上に感染予防対策に力を入れる。
2. 経済を動かしながら感染者を増やさないために換気を徹底させる設備の普及拡大に向けた補助メニューを出す。
3. コロナ感染症の正確な情報を発信することにより、つくられた恐怖を払拭し、ストレスから開放されワクチンに頼らない、免疫、体力を増強させ、自らの健康、命を守る意識付けを確立させることができる。これらをしっかりとマニュアル化して、県民に普及させるべきだと思います。

### (令和3年9月定例会)

又吉：コロナ感染症について感染と発症の違いについてご説明ください。

保健医療部長：感染とは、ウイルスが体内に侵入し、増殖することです。一方、発症とは、病気の症状が現れることを指します。具体的には新型コロナウイルスが細胞内に侵入し増殖したら感染したことになります。発熱や咳、味覚障害などの症状が現れた場合は発症したということになります。

又吉：ワクチンはどのように効果がありますか。

保健医療部長：新型コロナウイルスワクチンは発症を抑えるのに効果があります。

又吉：ワクチンについてはぜひ正しい知識をとかねがね私は言っております。感染を抑える効果よりも発症を抑える効果が大きいと。ある意味では又、感染予防効果もあるということなんです。与那国町の高齢者福祉施設のコロナ感染とワクチン接種状況についてご説明ください。

保健医療部長：与那国の施設については全員がワクチン接種をしていたということです。

又吉：うるま記念病院でもほとんどワクチンを打ちました。しかし多くの方々が感染いたしました。今、実際におきている事に対して、改めて皆様方に強く警鐘を鳴らしておきたいと思います。

感染状況について前年と比較検討して、感染者の重症者、死亡者状況はどのように変化してきたかお答えください。

保健医療部長：陽性者数につきましては令和2年が5,413人、3年は9月23日現在で43,725人。重症者数につきましては令和2年は1,172名、3年は9月23日現在で2,736人。死亡者数につきましては令和2年は81人、3年の9月23日現在で212人となっております。

又吉：日夜奮闘している職員並びに医療従事者の皆様方のご苦勞には本当に感謝申し上げます。これまでワクチン接種を進める中、接種率を上げててもコロナ感染者や死亡者は去年よりもさらに増え、効果が現れていないのが今日の現状ではないだろうかと思っております。この現状をどのように分析し、今後対応していくのかをお伺いします。

又吉：コロナで亡くなっている人数と、人口動態調査で去年一年間で亡くなった1, 2, 3, 4位までの死亡順位はどの様になっていますか。

保健医療部長：1位、がんが3,274名、2位、心疾患が1,669名、3位、老衰が1,057名、4位、脳血管疾患で978名が亡くなっております。

又吉：身の回りにはコロナ以上の死亡者が既に起きております。

又吉：コロナ感染症以外で死亡する方が多い今日、この現状に県は全く無関心であるということをおは皆さんに言わざるを得ません。一般の病棟が逼迫し始め、たくさんの方が亡くなり始めているんです。コロナ感染者は2カ年間で296名の死亡、人口動態調査では、それ以外に今年の死亡者が既に500名以上も去年より多いのです。コロナ対策も重要です。しかし、一般病棟もどうするのか少し目を向けていただきたい。

又吉：教育現場の感染状況はどのように変化してきたか

**教育長**：令和2年1月から2月までで**児童感染者は**270人、職員51人でした。令和3年1月から8月までに児童生徒は3145人、職員261人と去年に比べ**大きく増加しています**。

**又吉**：保育園現場の感染状況は

**子ども生活福祉部長**：保育所等による感染状況は令和2年度が148施設、270人、うち児童129人、職員141人でした。令和3年度9月21日時点で施設1503人、うち児童が1,002人、職員501人となっております。

**又吉**：対策本部長、このようにあらゆるところでコロナ感染者が増え始めています。**感染させないための予防対策があまりにも脆弱じゃないですかと皆様方に強く訴えたい**。

**又吉**：**感染予防対策として、三密以外にも私なりに調査研究をして調べた事柄ですが、1点目に飛沫感染を防ぐために、ウイルスは呼吸とともに舌に付着して増殖をされると言われておりますので、ベロを磨き、きれいに清潔にする。**

**2点目に接触感染を防ぐためにトイレの掃除。内側外側のノブの掃除。**

**3点目に自身の免疫力、体力を増強するために積極的に発酵食品（今では食卓から消えつつあります）を取り入れ、郷土料理（組み合わせのメニューが体にとても良い）、旬の野菜の（昔は冬に大根をたべる事は医者いらずと言われておりました）メニューを私達の日々の生活の中で取り入れていく。又、ストレスをためないためにも適度な運動と、身も心もリフレッシュしましょう。**

### **(令和4年2月定例会) こどもワクチンについて**

**又吉**：今、5歳以上のこどもワクチン接種が進められようとしておりますが、子どもたちの身体は発達途中であり、ましてや副反応がいまだに明かされていない治験中のワクチン接種は、治験結

果が明らかにされてからでも遅くはないと理解をするが、そのメリット、デメリットについて伺う。

**保健医療部長**：5歳から11歳児へのワクチンの接種につきましては、日本小児科学会から基礎疾患のある小児への接種により重症化を防ぐことが期待でき、また健康な小児に対しても発症予防等において意義があるとの見解が示されております

**又吉**：コロナ感染の10歳以下のこどもたちで。重篤者、死亡者、これまで何名が発表されました。

**保健医療部長**：**死亡者は県内では出ておりません**。中等症以上の子が何名か出たというふうには記憶しております。

**又吉**：ワクチンの目的は、重症者を抑える、しかし日本全国でコロナで死亡した子どもはいない。**基礎疾患のある子どもが4人ほど重篤化したと言われています。リスクが大きすぎませんか。**

**保健医療部長**：県民が希望する場合に、接種ができる体制を県としては確保することは重要であると。

**又吉**：コロナについて、ワクチンについて、しっかりした情報を流してもらいたいと、5歳から11歳で亡くなった方はいない、健康な方で重篤者もいない、そういうのをしっかり流すべきであります。



**～この事を知ってね～**

- ①ワクチンを打つ打たないは自由だよ
- ②まだ治験中のワクチンなんだよ
- ③子どもは感染しても重症化することは、まれだよ
- ④コロナワクチンの中長期の副作用は不明だよ
- ⑤子どもにはリスクを上回るメリットはないよ

沖縄：子どもたちへの新型コロナワクチン接種を考える会